



エルフの危ない冒険

「では村長。村を脅かす魔物の討伐に行って参ります！」

「ああ、くれぐれも気を付けてな。
…頼んだよ、レティシア」

「はい、おまかせを！
魔物に負けたりなど絶対しません！」



「うっ…出るぞ！
その綺麗な肌汚してやる！」

「ふあああああああ！
ドロドロで臭くて気持ち悪い…！」

ドロドロ





「さすが、高等種族は
アソコも良い具合だぜ！ グゲゲ！」

「んっんっんぐううう……！」

ズ
マ
ッ
ズ
マ
ッ

「どうだ？
俺たちゴブリンのチンポの味は？」

「よし、そろそろ出すぞ！
どろっどろの精液
たっぷり注いでやるぜ！」

「.....」

「一滴も零さず飲めよ！」



「おらっ、中に出すぞー！」

「あああああああ！
熱いのがいっぱい出てるうううううう……！！
に、妊娠しちゃうよおおおおおお！」



「エルフのマンコってのは
こんなにいやらしいのか！
チンポに絡みついて気持ち良いぜ！」

「あっああ…！ 嫌ああああ！
な、何をするんですか!?!」

「魔物から救ってやったんだ、
これくらいはしてもらわないとな」

ヌ
パ
ッ

ズ
パ
ッ

「そろそろ出そうだ！
おらっ、人間様の精液たっぷり味わいな！」

「あっあっあぁあぁあぁあぁ！
お腹の奥に熱いの
たくさん出てるうううううう！」

ド
ピ
ュ
ッ

ビクッ

びん
びん

「おい、俺にもやらせろよ！
エルフとやれる機会なんて
そうそう無いからな！」



「ぐふふ、久しぶりに
良いエルフが買えたわい。
たっぷり可愛がってやるぞ」

「ううっ、なんでこんなことに…
あっああー！」

ズ
ポ
ズ
ポ

「ほれ、どうじゃー！
ここがいいのかー？」

「あつ、駄目ええええええ！
そんなに激しく突いたらっ…
あっあっああん！」























